

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆

# はやし幹 林もとひと県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

自殺防止

## 多様なメッセージを

**林議員** 自殺は日本人の死因のうち、がんや心疾患などに続いて6番目にランクされ、全国では交通事故死者の6倍を超えており、人口10万人当たりの自殺者数を自殺率というが、アメリカの約2倍で、世界でも4番目に自殺率の高い国になっている。千葉県でも同様の傾向にあり、私も事態を非常に重く受け止めている。そこでまずうかがうが、県内の自殺者数の現状はどうなっているのか。

**林議員** 上位を占めています。健康問題、経済・生活問題、家庭問題がついては、健康問題、経済問題を主に取り組んでいます。動機や原因についても、地域の特性に応じて、多様な方法で伝えなければなりません。

**林議員** 15年ぶりに1300人を下回りました。そのうち40代から60代の世代が多く、全体の半数を占めています。地域自殺対策緊急強化基金事業の概要はどのようにうなものが、



6月県議会予算委員会で質問をする林幹人県議

**家庭・職場以外の居場所づくり大切**

**林議員** 私は過去2回にわたり、自らの一般質問で自殺対策を取り上げてきた。そして強く感じるのは、自殺対策はその「仕組み」だけでは不十分で、いかに県民一人一人が自殺という問題に対して正しく理解し、防止のために働きかけられるかが非常に重要であると

いうことだ。

そういう意味で、県が以前展開していた「ちば心のキヤッチボールプロジェクト」は、森田知事自ら先頭に立った、素晴らしいプロジェクトだった。しかしそれに続く同様のコンセプトを持つ取り組みが見当たらないような気がする。

そこでうかがうが、「ちば心のキヤッチボールプロジェクト」の後継策はどうか。健康づくり支援課長「ち

ば心のキヤッチボールプロジェクト」は、平成22及び23年

度に実施された自殺対策の普及啓発事業で、ラジオCMやフォーラムの開催などを広く県民に周知が図られ自殺対策に取り組む市町村も増えたことから、地域の特性に応じた対策を行いました。

その後、自殺の予防について広く県民に周知が図られ自殺対策に取り組む市町村も増えたことから、地域の特性に応じた対策を行っています。

ホーリーとして活発な議会活動を続けています。6月県議会では予算委員会で質問に立ち、自殺対策、道の駅、防犯対策などについて、県の施策や方針を聞きました。一般質問でたびたび自殺対策を取り上げて訴え、新たな啓発活動を県執行部に要望しました。県土整備常任委員長に互選され、ますます活躍が期待されている林幹人県議の質疑と県執行部の答弁を特集します。

**6月県議会予算委員会**

県では、基金を活用して事業を実施しており、市町村や各種団体が同様の事業を行った場合も補助をすることとしています。

具体的な事業としては保健師等へのうつ病の早期発見・受診勧奨のための研修、「残された遺族への支援のための『分かちあいの場』の提供」、「公共交通機関での広告による自殺防止の啓発」などに取り組んでいるところです。

おられます。

### 林もとひと県議・プロフィール

#### ○略歴○

昭和48年9月	3月	銚子市に生まれる
平成4年3月	3月	銚子市立銚子高校卒業
平成8年5月	5月	玉川大学文学部卒業
		米国ロードアイランド州語学留学
		空港グランドサービス入社
平成10年4月		衆院議員・山崎拓秘書
平成12年4月		衆院議員・林幹雄秘書(成田市担当)
平成15年4月		千葉県議会議員初当選
平成19年4月		千葉県議会議員再選
平成23年4月		

#### ○現職○

- ・県議会 県土整備常任委員会委員長
- ・自民党 ちば青年局・青年部広報委員長

**林もとひと  
オフィシャルサイト**  
<http://www.motohito884.com/>

「新しい成田を目指して」  
「月間コラム」毎月15日更新

政策・提言やプロフィール等を紹介しています。ブログやフェイスブック・ツイッターもこのホームページからご覧になれます。

**要望員 林議員** 殺対策の啓発支援をする、ゲートキーパーの養成研修等を行っています。

**意見員 林議員** 典型的なループロジェクトは、広く県民に自殺対策を伝えるコンセプトがあった。啓発に力を入れた自殺対策プロジェクトをもう一度考えていただきたい。

そこで、消防団や町内会など、家庭や職場以外の第3のコミュニティに所属することを県民にも勧めたい。

平成25年8月1日(木曜日)

# コンビニ駐車場に 防犯ボックス設置

**街頭犯罪多発地域に**

林議員 我が党の代表質問で渡辺議員が、予算委員会でもブリティ長嶋委員が取り上げたが、現段階における防犯ボックスの事業内容はどのようなものか。

県警地域課長 モデル事業の内容につきましては、今後、設置致しますが、現段階では、ひつたくり等

林議員 我が党の代表質問で街頭犯罪多発地域内においても、被害が発生する手口で行われる詐欺の発生状況は認知件数316件、被害額約9億5498万円であり、

**11月に運用開始**

## 林もとひと県議会リポート

# 昨年同期比

# 振り込め詐欺

## 被害額増加

林議員 一時期沈静化していいた振り込め詐欺だが、手口が複雑化・巧妙化して再び増加している。そこでどうかがうが、千葉県における本年の振り込め詐欺の発生状況は前年同時期と比べどうか。

県警刑事総務課長 平成25年5月末の振り込め詐欺やこれに類似する手口で行われる詐欺の発生状況は認知件数316件、被害額約9億5498万円であり、

林議員 コールセンター事業の概要はどのようなものか。

県警生活安全総務課長 「振り込め詐欺・悪質商法被害防止コールセンター事業」は、緊急雇用創出事業の一環として、業務委託した民間会社のオペレーターが、被害の多発している地域の各世帯や金融機関に対し、振り込め詐欺に関する注意喚起や情報提供を行つ

林議員 ご存知のように我が県はひつたくり被害が非常に多い県で、毎年ワーストランキングに名前が上がるという状況にある。県内における本年のひつたくりの発生状況は、前年同時期と比べてどうか。

県警刑事総務課長 平成安全部で安心なまちづくりを推進していくためには、県民一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちで守る」という高い防犯意識を持ち、自主防犯活動を推進していくことが必要であると考えております。

警察では、テレビ、ホーミページ、メールマガジン

## 引つたくりは 発生件数減少

林議員 先般の一般質問において、我が党の松下県議も取り上げられた道の駅は、平成5年4月に制度が開設されて以来、今年の4月現在で全国に1004駅、県内では23駅が設置されている。

ご存知のように道の駅は、ドライブでの疲れを癒したりトイレ休憩をとることができる「休憩機能」、道路情報や地域に関する情報を発信する「情報発信機能」、交流を促進する「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ施設で、私の知る限り県内の道の駅はどこも盛況だ。

6月補正予算では国内観光客誘致・観光地整備関係現金取り組みにより、多くの機能はもとより、各施設、個性豊かな取り組みにより、多くの機能

## 県内道の駅計23カ所 防災拠点の役割も



県の施策や方針を審議した予算委員会

25年5月末現在におけるひつたくりの発生状況は、認知件数375件であり、前年同期と比べ、46件、10・9%減少しています。

林議員 なによりも、私たちは一人ひとりが「ひつたくり」を意識して、防止対策に務めることができます。

25年5月末現在におけるひつたくりの発生状況は、認知件数375件であり、前年同期と比べ、46件、10・9%減少しています。

県民の防犯意識の向上を図っているところでございます。今後も自治体や関係機関など、県民の防犯意識の向上を図っていくのか、防犯キャンペーん、防犯講話等の活動を通じて、団体等と連携し、効果的に

などの広報媒体等を活用し、犯罪発生状況や防犯対策等の情報を発信するほか、防犯キャンペーん、防犯講話等の活動を通じて、団体等と連携し、効果的に

事業として5890万円計上されており、その中でちば道の駅観光推進事業として1500万円が割り当てられている。

そこでまずうかがうが、どのように県民の防犯意識の向上を図っていくのか。

林議員 なによりも、私たちは一人ひとりが「ひつたくり」を意識して、防止対策に務めることができます。

25年5月末現在におけるひつたくりの発生状況は、認知件数375件であり、前年同期と比べ、46件、10・9%減少しています。

林議員 なによりも、私たちは一人ひとりが「ひつたくり」を意識して、防止対策に務めることができます。